

民間工事二コース

JGMヴェルデ騎射場(鹿児島市)新築

3社で見積り徴集か

株式会社(山端) 勉社長、福岡市中央区は、鹿児島市に分譲型マンション「仮称・JGMヴェルデ騎射場」の新築を計画、近く3社程度に見積もりを依頼し、施工業者を決定したい考えだ。着工は5月頃の予定で、事業が順調に進めば17年11月の完成を目指したいとしている。設計は、プロト設計室が担当。

建設地は、鹿児島市下荒田3-40-6外の967・37平方メートルの敷地。建物規模はSRC造14階建て4556・36平方メートルで総戸数は48戸。4LDKが17戸、3LDKが31戸となっており、1階に機械式を中心とした駐車場とエントランスを設置、2階以上を住居とする予定。

来月の「木蔭」欄 担当者決まる

3月の木蔭は次の2氏が担当します。
◇3日(水)、17日(水)、30日(水)



井元 幸司氏
(鹿児島県耕地事務所 技術主幹兼建設係長)



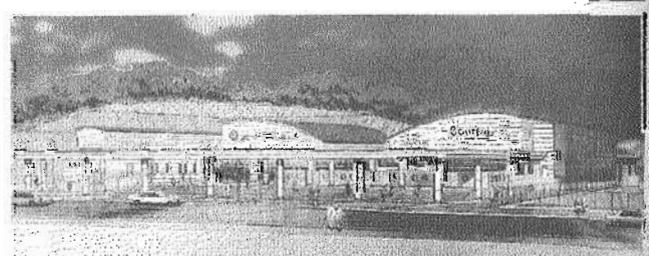
長田 暉之氏
(株)日建設計鹿児島支所(所長)



マンションの建設予定地

製材工場(都賀町)建設

来年度中にも着手



ポートピア金峰、設置確認交付

12月開設へ本格着工

金峰(株) (西田保馬社長、本社・鹿児島市)

が日置郡金峰町に建設を計画している場外舟券売場「ポートピア金峰」について、24日、国土交通大臣の設置確認が交付された。受交付者は、芦屋町外2カ町競艇施行組合、大村市、長崎県5市6町競艇組合。今後、建築確認が受理され次第、本格的に施設の建築、駐車場の造成に入る。建設地は同町大坂崩ケ平1194-1-1外125筆で、敷地面積は約7万9081.09平方メートル。このうち、駐車場が2万4115.99平方メートル、施設建築がS造平屋建て(管理部分一部2階)約4122.18平方メートル。窓口数として一般席(自動発券機16台、自動払戻機6台、手動払戻機1台)、指定席(自動発券機5台、自動払戻機2台、手動払戻機1台)を設置するほか、観覧席(固定式)に一般席424席、指定席162席を設ける。

現在、県の開発許可がおり、建築設計事務所が担当。計画によると建設場所は、松山町尾野見山口田138-3。建設規模は、S造平屋建て300平方メートル。

北さつま事業協同組合(田原秀文代表理事)は、薩摩郡都賀町の工業団地に製材工場の建設を計画。現在、国及び県と協議中。

議中であり、協議がまとまれば16年度中にも工事に着手する見込み。計画によると、同町の工業団地にこのほど完成した「ピーウッド都賀院の森」工場に隣接する、敷地面積1万8000平方

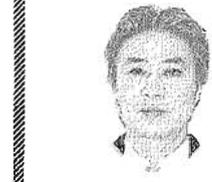
方、建物規模がW造平屋建て約1400平方メートルの製材工場を新築する予定。着工時期については、国及び県と協議中で、協議がまとまり次第着工する予定である。

ピーウッド(P-WOOD)とは中空乾燥材のこと、含水率が10%以下に抑えられ、乾燥による歪みや伸縮が小さいことから木造住宅技術の新たな提案として全国的に注目されている。

白坂堆肥利用組合(谷山治男代表、曾於郡松山町)は、牛ふんを保管する堆肥舎の新築を計画。施工業者を原口工務店に決め、このほど工事に着手した。3月末の完成を予定。設計はアユム一級建築士事務所が担当。

稲和代氏は、ユースホテルの新築を計画。施工業者を原口工務店に決め、このほど工事に着手した。3月末の完成を予定。設計はアユム一級建築士事務所が担当。

狩集 克己



当はバカなんじゃないだろうかと疑心暗鬼にさえなりかけている。そつえば、最近トントンと記憶力がなくなってきた。これ、これも兆候のあらわれか。パソコンの前で必死になって考えている。末の息子がやってきて

父親の威厳はまるつぶれである。「いつかみておれオレだつてー成せば成る、成さねば成らぬ何ごと」の格言を胸に果敢に挑戦するのだが、やはり才能のなせる業か玉碎に継ぐ玉碎。そろそろ、見切り時に来ているのかもしれないが、そこは下手の横好きでフラフラとパソコンの前に座ってしまふ悲しい性。まるで、麻薬患者のようにさえ思えてくる。

12級は本当にレベルが低い。「バカだな。なんでこんな手を指すのだろう。あつ、そつじゃないだろう」と独り言を言っている自分に気づく。でも、いざ自分が対局するとたんにわれを忘れてしまつてしまった。「へボ将棋、王より飛車をかわいがり」。

こんな日々がいつまで続くのかわからないが、「はやく成りたや有段者」。(鹿児島土木設計(株)常務取締役)

具志皮膚科クリニック(川内市)新築

丸久(康)建設で着工

仮称・具志皮膚科クリニックは、川内市に同クリニックの新築を計画、このほど施工業者に丸久(康)建設(桑木康行社長)を決め、工事に着手した。

早ければ5月末頃に完成する見込みである。設計は大匠設計が担当。計画によると、建設場所は川内市東小路町842、843で敷地面積が583.4平方メートル、建物規模はRC造2階建て355.97平方メートルとなっている。なお、完成が5月末頃で、6月初旬のオープンを目指している。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

7年前、我が家にパソコンがやってきた。早速インターネット将棋にアクセスする。題目の812勝705敗は、インターネット将棋の成績である。やりはじめて延々1517局をこなしていることになる。勝率は5割3分5厘でなんとか勝ち越しているものの、不動の勝率である。つまり、早い話が、まったく進歩しないということである。

わたしがハマッテいるインターネット将棋は15級から始まるが、最初はトントン拍子に

昇級し、僅か1カ月で11級に昇級した。ところが、そこからパッタリと進歩できない7年間。11級と12級を行ったり来たりしている。一時期10級に昇級したこともあったが、それもひと夜の火花に終わってしまった。

でもひまさえあればアクセスしているのだが、一向に昇級する気配はない。いまごろになつて、つくづく才能のなさかわかってきた。本

「お父さん、何級になったの? なあ、なんだ。まだ12級なんだあ」とバカして去っていく。「へやしいー!」息子をみてみると、11級

812勝705敗